

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

会長 遠藤家之進正和
 新潟県山岳協会
 新潟市南区鷺ノ木新田1049
 TEL 025-362-5004

事務局 諏訪恵一
 長岡市高畑町610-10
 TEL 0258-35-4373

編集 新山協ニュース編集
 委員会代表 浅野亘寛
 TEL 0258-52-3998

第50回 自然保護研修会報告

自然保護委員会委員長

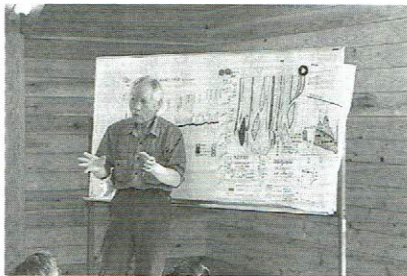
本間 一人 (亀田山岳会)

5月22日、第50回自然保護研修会が糸魚川市の戸倉山山麓(しろ池の森)で開催された。春、秋の年2回開催だから50回25年という大きな節目となる会である。実は、では50という数字はもうひとつ大きな動きがある。それは日本山岳協会の50周年である。記念行事が全国的に一年にわたって展開されているが、そのひとつに9月11日〜12日に柏崎市高柳(じよんのび村)で開催される全国自然保護総会である。新潟県山岳協会全員の取り組みとして、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、日本山岳会越後支部も公益法人として活動を展開し、今回も大勢の会員が参加していただきましたが、9月にもご支援をお願いする次第です。

さて71名の参加者を魅了した今回の講師はさわがに山岳会のご存知『小野 健』氏で

演題は世界ジオパーク、パークは公園、ではジオって何だろう。ジオロギー(地質、大地)という意味があるらしい。不況の中、地元経済界はどこでもそうだが、何かにあやかっ

て活性化を図ろうとするのはあたりまえ、ジオ井なるものを売り出したとか。気持ちには分かるがまず大目標は保護であることを力説された。佐渡の朱鷺にしてもいろいろな商品開発があるようだが経済界



小野さんの講演



野外での懇親会

はあるが、保護をつうじて地域づくり自然回帰の運動が大切であろう、今年には生物多様性の年である。

さて講師の話になるが話されたことを正確にここに記すことは私にとって難題であるので、おおざっぱな報告にな

るが、話は千年〜億年という太古の地殻変動であり、話の中心は糸静線フォッサマグナ帯であり、この線を挟んで地質がまるで違う。この辺の話は中学、高校の地理等ででてくるが講師は皆さん地中にもぐって空を見上げなさい。地層がどうなっているか見なさいとの事であった。よく地層を観察することによっていろいろな事が見えてくると言うことであろう、そして地層と植生の関係、梅海新道に於ける垂直分布は講師の独壇場であり、海拔0mから3000mのフィールドで暮らす先生の右に出る者がいないのは当然である。



— 新潟県山岳協会監修 —

『新潟 100 名山』

A 5 版 411 頁 2,600 円 + 税

6 月下旬発行

☆ 著者購読割引あり

第50回 自然保護研修会の報告

自然保護委員会

坂野 雅之(荒川ワンダーフォーゲル)

今回の自然保護研修会は、5月22日から23日と上越地区の糸魚川市大久保地内、雨飾山麓しろ池森林公園の管理棟を主会場に開催された。県山岳協会自然保護事務局を引き継ぎしてから初めて研修会案内発送と申込受付を致しました。前夜の参加変更メールを確認、すでに印刷した参加者名簿を数枚ほど訂正、焦る気持ちで荒川、胎内ICへと急いだ。土曜日なので予定時刻に到着できるか不安だったが糸魚川ICに正午頃にゲート通過できた。

会場には、すでに本間委員長と長岡ハイクの高橋さんが受付されていて委員長と交代する。参加者が多いので高橋さんには最後まで受付を担当して頂いた。翌日は海のウイストン祭も合わせて開催される事もあり申込は70名を超えた繁盛な研修会となった。

予定の午後2時に本間委員長と森理事長の挨拶が始まって早速に、小野 健 講師

(さわがに山岳会)の講演というよりも市民大学の講義を聴く内容の濃い研修となる。専門的な資料も多彩であり、説明も独特な語りで小野さんワールドに魅了されて行く。前半は、北アルプス地質や鉱物資源などフォッサマグナ誕生から入って、今から2500万年前にユーラシア大陸の一部が幾つかの地殻に分かれ海嶺ができ、横ずれ断層によって移動し、この時日本海が開きフォッサマグナが形成されたと言われている。日本アルプスも糸魚川-静岡構造線でユーラシアプレートと北米プレートが衝突する接線であり、北米プレートが下に潜り込みユーラシアプレートを押し上げて隆起して出来た。地質は、飛騨外縁帯に属する古生代シルル期後期の青海蓮華変成岩、石灰紀-ベルム紀の青海石灰岩、中生代ジュラ紀-白亜紀の来馬層堆積岩など古紀岩層が広く分布している。蛇紋岩メラジン帯には、ヒスイ原石や青海石、奴奈川石鋼石など稀宝石類が含まれている。小滝川のヒスイ原石は国の天然記念物に指定されていて、数年前には重機を持ちこんで盗掘していた大胆な奴もいた。また黒姫山、明星山の石灰岩は日本でも唯一の埋蔵量を誇り、多種類の古生物化石と奴奈川カルストといわれる豪雪地特有の山岳溶触地形が発達し、大規模な地下川がある福来口鍾乳洞や深度五百米の堅穴など洞窟群は、未開の魅力を秘めた超一級の天然資源である。梅海新道、朝日岳ノ親不知日本海を連れ、地質、地形、植生に大きな特徴を持ち犬ヶ岳周辺の来馬層には、アンモナイト、羊歯類などの化石を産し、恐竜発見の可能性もある。小野さんが発掘したコレクションはフォッサマグナミュージアム専用展示場に有ります。ただ一番のお気に入りの化石は小野さんが持っているもので訪ねればいつでも拝見できるが、観るだけにしてもらいたいそうです。後半は植物、樹木の分布についての説明で梅海新道の犬ヶ岳のシダ植物類は3億5000年変わらないがラシ、ヒシ植物やユリ科では年々変化していくそうです。

最近では宇宙に行ってきたササユリの話でなぜ宇宙に行ったかは、小説家の「谷川リョウ」氏から現在育てているササユリを宇宙飛行士若田さんと一緒にスペースシャトルで実験しないかとお呼びがかかり、長年を岩石からセメント、山もある程度やってきて、恩返しの意味も込めて糸魚川市の花、ササユリを宇宙へと運びフライト証明は市長が持っている。いずれにしても梅海新道に繋がっている事で小野 健さんのこだわりが有る様に思える。



しろ池と雨飾山

最後に糸魚川ジオパークは、岩石を手に触れて体験することが一番だそうです。そして山登りは山の歴史や地質など調べて歩く楽しみを味わう事も大切であると言っておられた。まだ聞きたい事は沢山ありますが時間が過ぎてしましました。何回聞いても興味深い話で素晴らしい山岳博士だと思えます有難う御座いました。研修会はこれで終了し懇親会までは時間があるので、しろ池まで探索に出かけた。目の前には雨飾山や駒ヶ岳を鏡のように池に映している。三年前にワンゲルで雨飾山に登った事が新潟日報の仲間たちと言う新しい企画に、2回目くらいに依頼があり、新聞に雨飾山登山記が載ったので私にとつて印象深い思い出の山でもある。懇親会はずでに始まっていて管理棟の前の芝

登山計画書を出しましょう

生での酒盛りとなった。亀田山岳会の方々の料理した豚汁を肴に、明日の山の話も盛り上がり、いつの間にか寝袋に入っていた。

早朝に目が覚め白鳥山に出掛けて行く人や戸倉山に登る人など慌ただしい朝食を済ませて六時半ころには、戸倉山登山口に着いた。高田ハイクの武田さんを先頭に塩の道と角間池を越えて、雨も降り始めた山頂も早急に下山となる。

しろ池の東屋では遠藤会長と森理事長が待つて居られ、話もそこそこに管理棟に戻ったが、すでに委員長も帰られて閉会式も無く流れ解散となった。白鳥山も雨登山だろうと思いがら雨のドライブ二百三十キロの帰路に向かうが新潟県は長いと年と共に一段と感じるようになって行くのだろうかと思う。

23日早朝7時〜7時30分に親不知で行われるウイנסトン祭と白鳥山の山開きのオープニングに間に合うべく、しろ池の宿泊地を出発する。空模様も心配するほどの事もなく、糸魚川市の関係の方々の挨拶と説明、新潟県山岳協会からは山田智子参与、日本山岳会越後支部の山崎幸和会長の挨拶があった。小野健氏か



海のウイנסトン祭で挨拶する山田参与

らは糸魚川ジオパーク、梅海新道と後立山最北の白鳥山に関連した説明と挨拶があった。予定どおりオカリナの吹奏と献花もおわり、各自登山の拠点となる坂田峠へ移動し、グループごとの登山となる。急な金時坂を登り切り切りシキワリを過ぎるころから強風となり、ザックカバーが飛ばされそうになったり、メガネを飛ばされた人もいたほどの強風となった。毎年頂上で行われる山開きの神事も強風のため白鳥小屋のなかでとりおこなわれたよう、小屋に入れない人達は早々に下山にとりかかると30分頃には、坂田峠に置いた車に着く事が出来た。 ※23日ウイנסトン祭以降は 会報編集委員記

地震見舞い募金のお礼

新潟県山岳会長 遠藤 家之進正和

このたび、中国青海省玉樹県大地震見舞募金に際しましては、早速のご厚志を賜り誠にありがとうございます。

ご承知のとおり新潟県山岳協会は、中国青海省登山協会と兄弟友好協定を結び、地震の起きた玉樹県には、中国遠征時何回となく訪れたところであります。そんな関係から、このたびの地震被害は看過できないもので、私も新潟県山岳協会から募金のお声がけを行ったところ、長野県山岳協会をはじめ、多くの方々から気持ちをいただき、約30万円という募金が集まりました。

当協会としまして送金等について検討しましたところ、単なる見舞ではなく有効に利用してもらいたく、両親を亡くした孤児の教育のために利用してもらおうこととしました。ご理解をお願い申し上げます。

片桐副会長と桜井理事が現地訪問して、直接手交しお見舞いしたいとの意向であること

から、6月16日に訪中して無事大役を果たされこのたび帰国しました。

新潟県も度重なる災害を受けてきましたが、現状は惨憺たる様相です。早速の訪問と私どもが検討した意向は、充分伝わったものと理解しております。募金された各位の善意にお礼を申し上げ、ご報告に変えさせていただきます。誠にありがとうございます。

※片桐副会長の現地訪問報告は次号に記載させていただきます。

賛助会員入会

ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

- 6月3日〜7月8日現在の入会、ご入金状況です。
- 山田智子 (越稜山岳会)
- 上村虎夫 (十日町山路の会) (敬称略、順不同)

新潟県山岳協会

- 会長 遠藤家之進正和
- 理事長 森 庄一
- 総務委員長 遠藤 俊一

登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL.0258(37)1200-FAX.0258(33)1164
●営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第059号・IATA代理店 社) 日本旅行業協会会員
本社: 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

- ☐長岡営業所 〒940-0004 長岡市幸町1丁目3番5号 (0258)33-7123
一総務/営業取締役主任者 森 庄一
- ☐新潟営業所 〒950-0916 新潟県山形市山形3丁目2番11号 (025)246-2266
一総務/営業取締役主任者 中島 豊

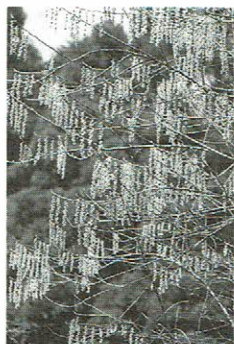
越後の山に見られる 変種植物

むささび会 加藤 明文

◆ キブシ属 *stachyurus*
⑦ ハチジヨウキブシ



▲母種 キブシ
五頭山 4月6日



▶ハチジヨウキブシ
国上山 4月4日

新潟県が北限の樹。沿海の山地に産し本県でも佐渡をはじめ海風の通る山地に見られる。母種はキブシ (*praecox* ~早咲きの) で母種に比して葉も大きく枝も太い。何よりも垂れ下がる穂状花序の長さが4~10cmに対して10~15cmと長く穂の数も非常に多い。漢字名は「木五倍子」と書くが薬用としての「五倍子」の代用品として使用され古名「木付子」よりの由来とする説がある。

編集こうき

▲生物多様性は自然環境の重要な指標であると思うのだがどうだろう。10月に名古屋で開催される生物多様性条約第10回締約国会議ではその危機的状況を日本国内にも訴えかける良い機会だと思ふのだが。▲佐渡のトキや兵庫県のコウノトリなど絶滅種の復活が進められているが、一方ではなかなか開発行為が、身近なところでは阿賀野川河川敷などが公園計画の対象になっている。里山だけでなく信濃川や阿賀野川などの水辺の河畔林はおどろくほどの様々な昆虫や鳥、小動物の生息地であり、渡り鳥の飛来地であることを周知している人達は多いと思ふ。人間優先・経済第一主義を念頭においた「自然を活用する」などの箱物づくりの計画は、動植物の都合を無視した人間だけの楽しみと潤

いでしかない自然破壊だと思ふのだが。▲他の生物と人が身近で共生できる場がどれほど貴重なものか考えてみたいものだ。「日本野鳥の会」の会員である友人との話のなかで人里と切っても切れない仲のスズメの数が、予想していたように激減しているのだそうだ。人間の住宅事情で軒先とか屋根の形状の変化で巣造りの場所が少なくなったのと食餌などの事情が原因らしい。早朝から身近でさえずる、あの栗色の愛らしい住人たちは何処へゆくのだろうか。

会報・編集 浅野

成功させよう!

『全国自然保護総会』

— 高柳 じよんのび村 —

9月11日(土)~12日(日)開催

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス

ICI 石井スポーツ
新潟店

新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134(特)
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

JTB Your Global Lifestyle Partner

70th
ANNIVERSARY
1948-2018

JTB関東 法人営業新潟支店

新潟市中央区古町通6-976

TEL:025-224-2201 FAX:025-229-5775

<http://www.jtb.co.jp/shop/houjinniigata/>

※“旅”の最新情報、ご覧になれます。

E-mail:h_mitani388@jtb.jp